

箕面ロータリークラブ

2020-21  
WEEKLY  
BULLETIN



2020-21 年度 国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク  
国際ロータリー第 2660 地区 2020-21 年度ガバナー 簡 仁一

【2020-21 年度】会長 河野優作 幹事 前田建司 広報・会報委員長 山本貴雄

事務局・例会場：〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 箕面観光ホテル Tel:072-724-2781 fax:072-724-1786  
e-mail:mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP:http://mino-orc.net/ 例会日:毎週木曜日 18:30~

**臨時休会のお知らせ**

2021年3月18日(木) 第2468回例会

**次回例会予定**

2021年3月25日(木) 第2468回例会  
(3月18日を25日に変更し開催)

◆会長挨拶◆

河野 優作

皆様に例会でお会いすることができなくなって、約2ヶ月経ちましたが会員の皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか？

緊急事態宣言、ワクチン接種の時期、等々まだまだ先行きの見通しが立ちにくい状況が続いております。そのような中、先月24日に箕面市の稲ふれあいセンターにおきまして臨時の地区補助金を活用した高齢の方々の介護予防を目的とした健康器具の寄贈を行ってまいりました。今年度は多くの事業が中止、見送りになる中での奉仕活動でしたので私自身、大変感慨深いものとなりました。

話は変わりますが今月3月は水と衛生月間であります。ロータリーはこれまで何十年にもわたり、人々が安全な水を利用できるよう支援してきました。しかし課題として残るのはロータリーのプロジェクトが行われた、その後にあるそうです。アフリカ、南米、南アジアの一部では、まるで持続不可能となった奉仕プロジェクトの証とでもいうように、錆びた給水ポンプや老朽化した衛生施設があちこちで見られ、ある報告書ではロータリーが実施した多くのプロジェクトでこのような問題が取り上げられているそうです。これらのことを踏まえ、より良い成果とするプロジェクトを行うためには持続可能なことという要素が重要視されています。

ロータリー財団は長年の活動を通じて、長期的な変化をもたらすためには、地域社会の関わりが極めて重要であることを学びました。現在ではグローバル補助金を申請

するクラブに対しプロジェクトの計画に地域住民が関わったことを証明することが義務付けられております。今後は更に、取組む議題を精査し、地域で利用可能なリソースや解決策の判断を行い、地域社会と共に長期的な管理計画を策定すること、同時に持続可能であること、この2点が金銭的な問題よりも大きく重要とされていくようであります。

例会場の営業再開後には例会を開催する予定であります。一日でも早くロータリーの活動が無事に再開できることを心から願っております。

◆幹事報告◆

前田 建司

◆3月18日例会の日程変更について

3月18日第2468回例会は箕面観光ホテル休館延長に伴い中止とし、理事役員審議により3月25日(木)第2468回例会を開催する。

【今後の例会予定】

3月18日 箕面観光ホテル休館延長により中止  
3月25日 例会開催



4つのテスト 言行はこれに照らしてから

1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

## ◆ 3月お誕生日 ◆

3月24日 西宮 富夫 会員

例会が再開されましたら、お祝いと記念品贈呈を行う予定にしております。

## ◆ 米山奨学金授与 ◆ 事務局にて授与式

## ☆イアン パンニャー様 奨学生レポート☆

(2月末に米山奨学会に提出されたレポートです。原文のまま掲載)

## 【留学の生活】

送電網が届かないへんびな島で生まれた私は、子供の時に主に車用の電池を利用して生活していました。そして、高校に進学するために、首都に引っ越しました。そこで毎日二、三回停電が起きていたことがきっかけで、私は、誰よりも電気の必要性を体感し、電気電子工学を専攻することに決めました。



自分という殻から抜け出したいと思ったため、海外に留学したいという夢がありました。また、日本製品の信頼性の高さは母国でも有名であったため、日本の電気技術を身に付けるという目標で、日本を留学先を選びました。

2014年に来日した私は、最初に、異文化、言葉の壁によって、コミュニケーションや授業などに困り、途中で諦めて帰国しようと思った時もありました。しかし、最初の目的を忘れずに、きちんと対策しました。分からないことを先生方へ積極的に相談し、友達と鼓舞しあいながら生活することで、コミュニケーションを取れるようになり、目標であった日本の電気技術を学ぶことができました。努力した結果、日本語学校から大学の電気電子工学の各部まで無事に卒業することができました。

十分な電気に関する知識や技術を身につけるために、2020年の4月に大学院へ進学しました。同時に、ロータリー米山奨学生になります。そろそろ一年間になる奨学生として、学校で得られない経験がたくさんあります。例会でロータリアンの卓話より、人生にあった課題に対する柔軟な乗り越え方、生き方などといった貴重な経験から学びました。さらに、ロータリアンとカウンセラーさんと交流することで、日本の文化の知識がもっと広がり、日本語を改善することもできます。

残り一年間の奨学生をより充実させるためには、卓話や箕面ロータークラブの活動よりもっと学びたいと思っております。将来に、技術知識と奨学生として得られた経験を活かして、社会に電気を安全、安心、安定、公平供給して貢献したいと考えております。

## ◆ 地区補助金事業（臨時費）について ◆

2020-21年度地区補助金事業（臨時費）で箕面市立多世代交流センター（稲ふれあいセンター）に介護予防トレーニング機器2台を寄贈したことに對しまして、箕面市上島市長より感謝状が贈呈されました。

(2/24 稲ふれあいセンターにて)



## ☆ 寄贈品 ☆

ヘルスジョガー 1台

リカンベントバイク 1台

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか